

環境にやさしい次世代自動車①

地球温暖化の一因は自動車からの排気ガス。

次世代自動車は、大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れているなど環境にやさしい自動車です。

電気自動車

バッテリー(蓄電池)に蓄えた電気でモーターを回転させて走ります。
自動車からの排出ガスはなく、走行騒音も大幅に軽減します



本市では電気自動車12台を公用車に導入しました。



電気自動車の急速充電器

本市は3箇所に急速充電器を設置しています。

- ◆道の駅 しおのえ前
- ◆道の駅 源平の里むれ
- ◆道の駅 香南楽湯

環境にやさしい次世代自動車②

燃料電池自動車

車載の水素と空気中の酸素を反応させ、燃料電池で発電し、その電気でモーターを回転させて走ります。

二酸化炭素排出量を低減できることに加え、実航続距離が長く(500km超)、燃料充填時間が短い(3分程度)など、ガソリン車並みの性能があります。



2017年4月、高松市朝日町五丁目に
県内で初めて開所した水素ステーション

その他の次世代自動車

天然ガス自動車

家庭に供給されている都市ガスを原料とする天然ガスが燃料

クリーンディーゼル自動車

2009年に導入された「ポスト新長期規制」と呼ばれる排出ガス基準に対応したディーゼル自動車

ハイブリッド自動車

複数の動力源を組み合わせる自動車。多くは、ガソリン等のエンジンと電気のモーターの組み合わせ

プラグインハイブリッド自動車

家庭用電源などの電気を車両側のバッテリーに充電することで、電気自動車としての走行割合を増加させることができるハイブリッド自動車